



～アウトリーチに興味をお持ちの皆さまへ～

りゅーとぴあ 音楽アウトリーチ研修会 2024

これまで芸術に関心を持たず接する機会もなく、アートの喜びや楽しさをまだ知らないという人に、その喜びや奥深さを伝えていく活動・・・それが『アウトリーチ』です。クラシック音楽の分野でも、社会ニーズの高まりと共に「生演奏を届ける」というだけではない多様な手法が開発されつつあり、大きな変化に直面しています。

そこで、2年ぶりにりゅーとぴあで開催するこのアウトリーチ研修会では、広がりをもせるアウトリーチ概念の把握と、優れた模擬アウトリーチを体験・分析することで、アウトリーチそのものに対する理解を深めることのできるカリキュラムを用意しました。

アウトリーチに興味がある音楽家、公共ホール職員、文化行政担当者の皆様、学生の皆様、ぜひご参加ください。

- 日程 2024年12月25日(水) 10:30～17:00 (番外ゼミ参加の場合は20:00)
- 会場 りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 練習室5, スタジオA
- 対象 ①音楽家(主にクラシック分野で演奏・指導活動中の方) ②公共ホール職員
③文化行政担当者 ④アウトリーチ活動に興味・関心がある学生
- 定員 先着20名 ※定員を越えた場合は、受講いただけない方のみご連絡します。
- 研修会カリキュラム(予定)

時刻		講師	内容	場所
9:45	受付開始			練習室5
10:15	開講式			
10:30	ゼミ①	児玉真	アウトリーチ概論 我が国のクラシック音楽界&公共ホール業界におけるアウトリーチの歴史、意義と効果、地域音楽家の活用の広がりや課題、プログラム開発、今後の可能性等について、斯界の第一人者が概説します。	
12:00	昼食休憩			
13:00	ゼミ②	本間優 (ピアノ)	模擬アウトリーチA りゅーとぴあアウトリーチ事業第3期登録アーティストが、小学校4年生向けに行っているアウトリーチ・プログラムを模擬体験していただきます。	スタジオA
14:00	ゼミ③	千葉真弓	さまざまなアウトリーチ 岩手県北上市文化交流センターさくらホール feat. ツガワは、アウトリーチの地域間連携に積極的に取り組んでいるホールです。現在の幅広い事業展開の一端を、このゼミでご紹介します。	練習室5
15:00	ゼミ④	伊達LOW Strings 名和俊(コントラバス) 吉岡知広(チェロ)	模擬アウトリーチB 全国で最も早くから地域の音楽家とアウトリーチを行ってきた福島県いわき市の公共ホール《いわきアリオス》のアウトリーチ・プログラムの1つを体験していただきます。出演は、仙台フィルハーモニー管弦楽団でもご活躍の名和俊(コントラバス)と吉岡知広(チェロ)による珍しい編成のデュオ、伊達LOW Strings です。	スタジオA
16:00	ゼミ⑤	本間優 伊達LOW Strings	<アーティストから見たアウトリーチ、 アーティストにとってのアウトリーチ> アーティストはアウトリーチをどのように感じているのでしょうか。どのような意味や価値を感じているのでしょうか。通常は受け手側のメリットが語られることの多いアウトリーチですが、ここでは音楽家側からの視点でその価値を捉え直します。	
17:00	終了予定			
18:00	番外ゼミ (希望者のみ)		講師の方々を囲んで行う情報交換会(懇親会)です。アウトリーチや音楽活動について、様々な情報交換をしましょう。会場は新潟駅近辺(参加費5,000円)を予定しています。	新潟駅近辺

- 講師 児玉 真（一般財団法人地域創造プロデューサー）
千葉真弓（北上市文化交流センターさくらホール feat.ツガワ 企画事業課プロデューサー）
本間 優（ピアニスト・りゅーとぴあアウトリーチ事業第3期登録アーティスト）
伊達 LOW Strings（おでかけアリオス研究会第4期アーティスト）

■参加費 無料（ただし、番外ゼミは参加費 5,000 円）

■締め切り 12月18日（水）必着

■申込方法 次の URL の応募フォームよりお申込みください。

<https://forms.gle/LPifc8QWvnFwS4Zu6>



※上記の応募フォームから申し込めない場合は、r-outreach@ryutopia.or.jp までメールにてご一報ください。

■主催 公益財団法人新潟市芸術文化振興財団

■助成 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
※この事業は新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています。

講師プロフィール

児玉 真（（一財）地域創造プロデューサー）

音楽事務所でウィーン・フィル、ベルリン・フィルやソリストの日本公演の制作に関わるとともに、法人演奏家のマネジメントを行う。その後、カザルスホールのチーフ・プロデューサー、NPOトリトン・アーツ・ネットワークのディレクター、いわき市芸術文化交流館アリオスのチーフ・プロデューサーを歴任。地域創造公共ホール音楽活性化事業では立ち上げからチーフ・コーディネーターを務めた。また長崎市、北九州市、幸田町などでアウトリーチ手法を活用した演奏家と公共ホールの新しい関係のあり方への提案、企画などを行うとともに、熊本県、宮崎県、大分県、広島市、京都市、北上市その他各地で演奏家へのアウトリーチ演習などを通じて、アーティストの育成も行っている。現在、地域創造プロデューサー。

千葉 真弓（北上市文化交流センターさくらホール feat.ツガワ 企画事業課プロデューサー）

東京都八王子市出身。昭和音楽大学音楽芸術運営学科卒業。大学在学中に小出郷文化会館で研修を受け、公共ホールの職員を志す。2003年北上市文化交流センターさくらホールのオープンより岩手県に単身1ターンし、一般財団法人北上市文化創造の職員として勤務している。2006年度からアウトリーチ事業に取組み、毎年継続中。2014年度から地域の演奏家とのアウトリーチ事業を開始している。現在は企画事業課に所属し、2024年よりプロデューサーとして文化芸術による地域づくりに取り組んでいる。

本間 優（ピアニスト・りゅーとぴあアウトリーチ事業第3期登録アーティスト）

県立新潟南高校、新潟大学教育人間科学部芸術環境創造課程音楽表現コース卒業。同大学院教育学研究科教科教育専修音楽教育専攻修了。第19回JPTAピアノオー디션B部門優秀賞、第34回E部門優秀賞。第41回新潟県音楽コンクール優秀賞。第20回ヤングアーティストピアノコンクールF部門優秀奨励賞。第15回北関東ピアノコンクール第3位。ピアノを高波真美、故・熊倉竜夫、小出香弥、田中幸治、國谷尊之、松本和将の各氏に師事。新潟県内を中心とした演奏活動の傍ら、新潟市西蒲区にて後進の指導にあたる。2022年より多様なコンセプトを掲げたりサイタルを開催している。アンサンブルピアニストとしても共演多数。「りゅーとぴあアウトリーチ事業」第3期登録アーティスト。新潟県立大学非常勤講師。

伊達 LOW Strings（おでかけアリオス研究会第4期アーティスト）

2015年12月、チェロ・吉岡知広（仙台フィル・チェロ首席奏者/宮城県仙台市出身）と、コントラバス・名和俊（仙台フィル・コントラバス副首席奏者/福島県いわき市出身）によって結成された、デュオ・ユニット。愛称は「ダテロー」。二人とも東北出身で「低音域の弦楽器のみ」という珍しい編成で活動している。演奏曲は彼らが専門とするクラシック音楽に留まらず、ポップス、ジャズ、タンゴなど、そのレパートリーの幅を常に広げ続けている。これまでに、自主企画のライブをはじめ、楽天イーグルスドームで行われた「ツボ」『生ビール黒ガール presents Hope for TOHOKU LIVE』への出演や仙台クラシックフェスティバル、みやまコンセルススペシャルコンサート（鹿兒島）など活躍の場を広げている。また、東日本大震災で被災された地域で開催している復興コンサート（主催：音楽の力による復興センター東北）にも多数出演。おでかけアリオス研究会第4期アーティストとして、福島県いわき市内の小・中学生にアウトリーチ活動を行っている。